IHクッキングヒーター（ビルトインタイプ） National
設置工事説明書

品番
KZ−321L　・KZ−S321L　・CHM−T2L
KZ−321LS・KZ−S321LS・CHM−T2LS
KZ−321K　・KZ−S321K　・CHM−P2K
KZ−321J　・CHM−K1J
KZ−321LR・CHM−T2LRS（赤外線式換気連動タイプ）

工事される方へのお願い
- ●KZ-321LR・CHM-T2LRSは、必ず「赤外線式換気連動システム対応型レンジフード」とセットでお使いください。
- ●試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- ●本体設置時に、トッププレートや操作部ユニットを分解しないでください。

1 安全上のご注意 必ずお守りください（設置工事上のご注意）

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ工事してください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

設置工事は、この「設置工事説明書」に従って確実に行う

設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。

200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する

この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあります。

絶対に分解・修理・改造は行わない

分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。

電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う

接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

アース線接続

漏電時に感電の恐れがあります。

⚠ 注意

トップレートに衝撃を加えない

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。

※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。

試運転中は、トッププレートやロースター扉など高温部に触れない

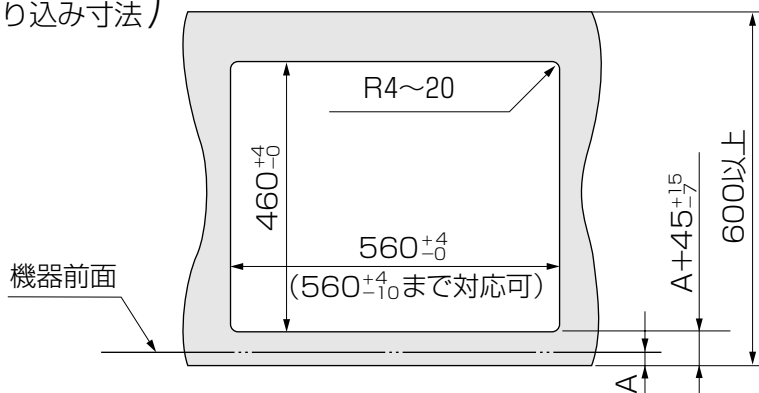
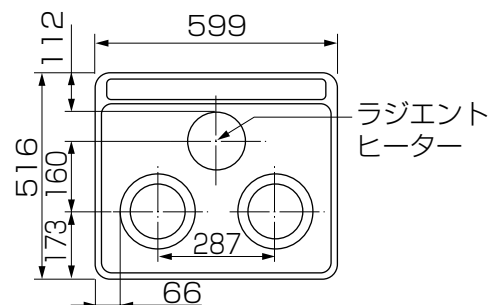
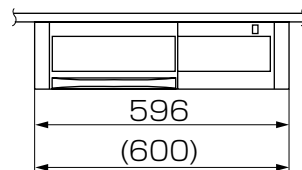
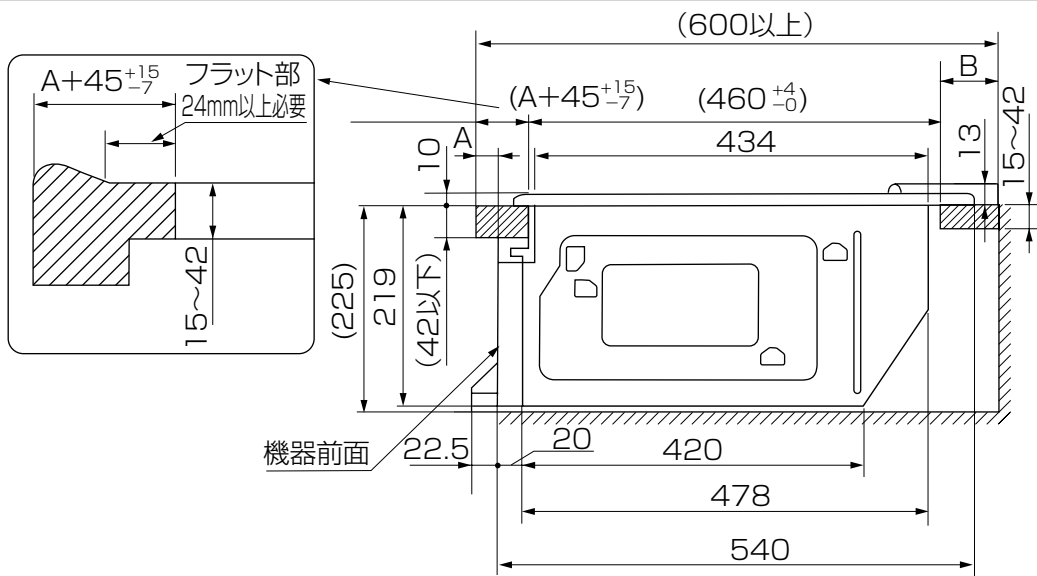
やけどの恐れがあります。

ワークトップの材料は、耐熱材料の物を使う

●熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上の物。
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

2 外形寸法図（単位：mm）

〈取り付け穴〉
（ワークトップ切り込み寸法）

平面図

正面図

側面図

※A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。
※B寸法（後方スペース）が80mm以上あれば、松下電工製の露出コンセント（WK36301B）が使えます。
※コード長さ：約0.7m

3 設置場所の確認

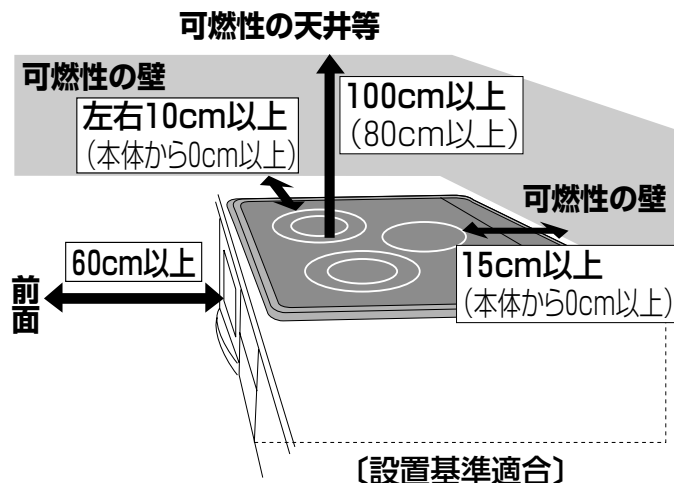
火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。

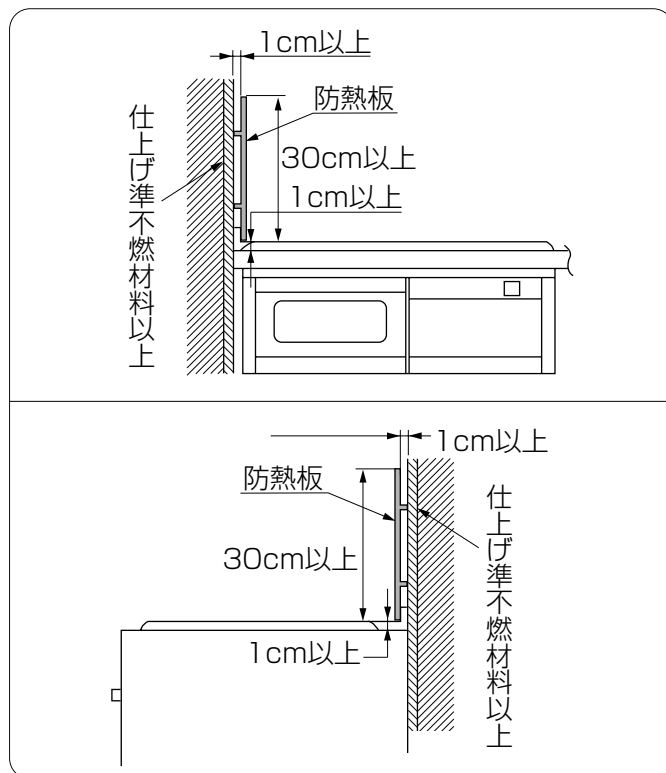
壁からの距離

■周囲が可燃性の壁（防火構造壁以外）の場合

●（　）内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合

可燃性の天井等
可燃性の壁
左右10cm以上
（本体から0cm以上）
100cm以上
（80cm以上）
可燃性の壁
60cm以上
前面
15cm以上
（本体から0cm以上）

〔設置基準適合〕

※設置するときは、所轄の消防署に確認してください。

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合は防熱板を取り付ける

お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合は、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とキッチンの金属部が接触しないようにしてください。
（電気設備技術基準第59条で危害なきよう設置することが定められています。）

4 電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路の設置

■電源にブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路を設置する

●三相200V（動力電源）は使わないでください。（故障の原因になります。）

■屋内配線用電線は、線径φ2.6mmのものを使う

漏電遮断器の設置

■漏電遮断器を必ず設置する

●**推奨漏電遮断器**（松下電工製）

品　番	BJS303(HBモジュール)
定格電流	30A
感度電流	30mA

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。（コンセントの一極設置用に配線してください。）

■コンセントの種類

●**推奨コンセント**（松下電工製）

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オーブンレンジ	
		100Vコンセント	200Vコンセント
定　格	単相250V・30A(接地2P)	単相125V・15A(接地2P)	単相250V・20A(接地2P)
品　番	WF3630B（埋込型）に相当するもの WK36301B（露出型）	WN1031（埋込型）に相当するもの	WN1932（埋込型）またはWKS294（露出型）に相当するもの

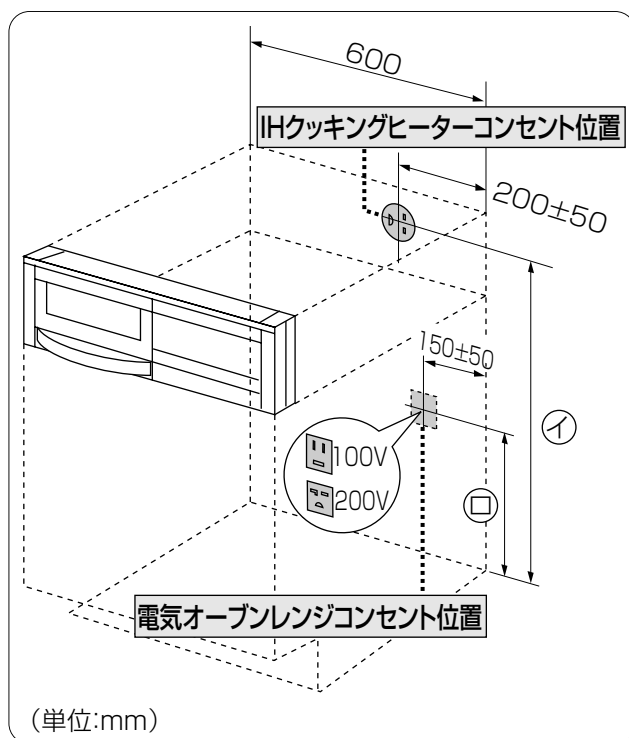
■コンセントの位置

●コンセントの取り付け位置

キッチン高さ	IHクッキングヒーターコンセント ㋑寸法	電気オーブンレンジコンセント ㋺寸法	
		NE-DB300 NE-DB301 NE-DB500 NE-DB501	NE-DB300S NE-DB301S
850mmの場合	700±15mm	490mm	設置不可
800mmの場合	650±15mm	490mm	390mm

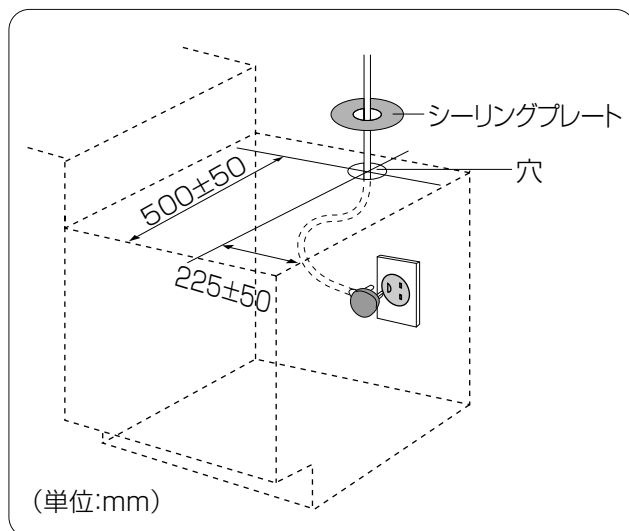
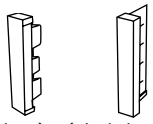
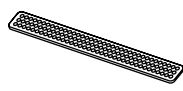
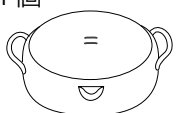
●電気オーブンレンジの設置高さ

キッチン高さ	NE-DB300 NE-DB301 NE-DB500 NE-DB501	NE-DB300S NE-DB301S
850mmの場合	625mm	設置不可
800mmの場合	575mm	575mm

※詳細は電気オーブンレンジの設置工事説明書をご覧ください。

■仕切り板のあるキャビネットで仕切り板より下にコンセントを設置する場合

ホールソーなどを使い、φ60mm以上φ100mm以下の穴を開ける。

※開口した穴をふさぐときは、シーリングプレートを貼り付けてください。

●**シーリングプレート**（あっせん品）
品番：KZ-042

お 願 い

●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

5 設置する

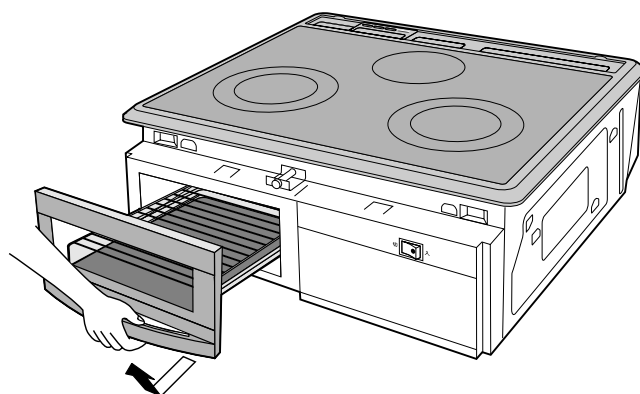
設置前の準備

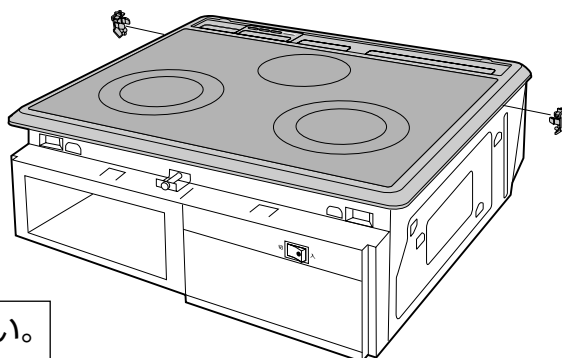
■包装材料を取り外し、付属品を確認する

サイドカバー	吸・排気パネル	飾り枠	ロースター焼き網	天ぷらなべ
2個 （左側用）（右側用）	1個	1個	1個 （KZ-321J CHM-K1J用）	1個

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。
●操作部止めテープ（KZ-321J・CHM-K1Jは無し）およびロースター扉止めテープをはがし、ロースター焼き網の包装材を取り除いてください。

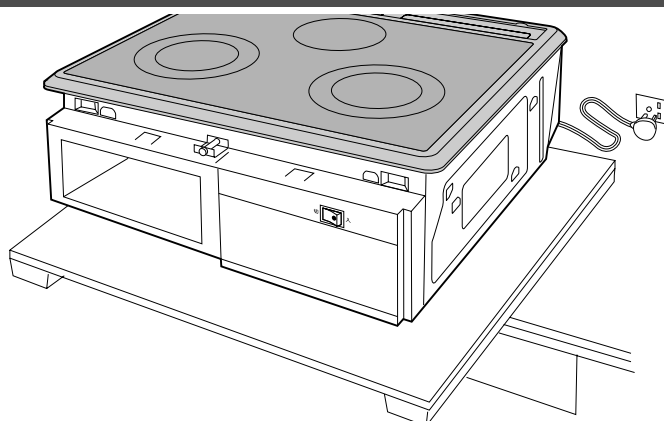
■ロースター扉・受け皿を取り外す

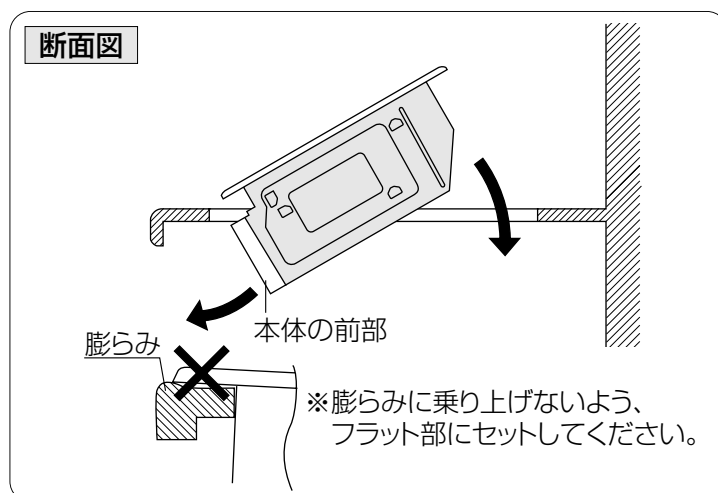
ロースター扉の取っ手を持って引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。

■取り付け穴の横寸法が550mmの場合

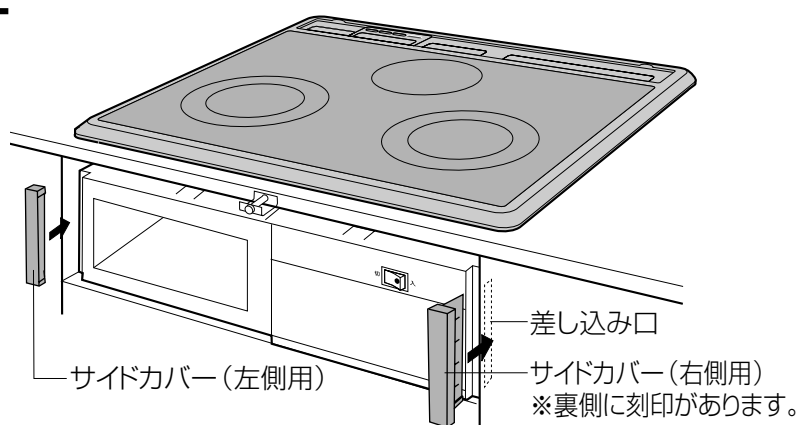
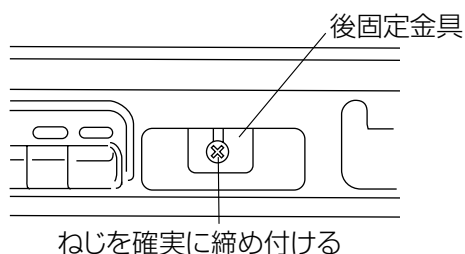
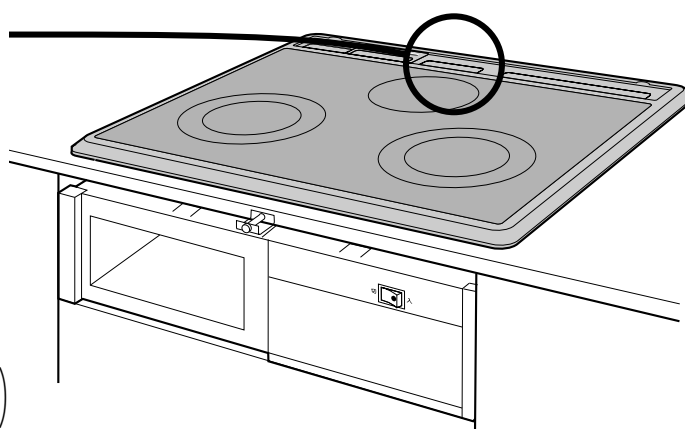
スペーサー（2か所）をラジオペンチ等で挟み、引っ張って取り外す。

●トッププレートや操作部ユニットを分解しないでください。（接続線が外れて、故障します。）

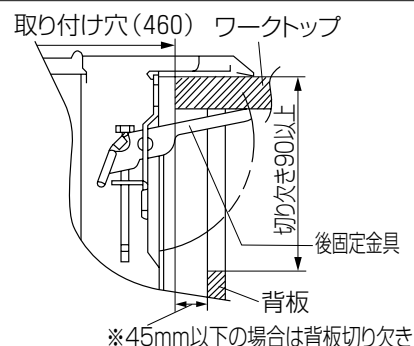
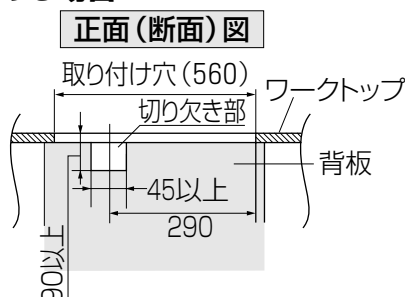
本体の設置

1 電源プラグを差し込む

●ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷く。

2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

● はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てない。
（スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。）
● フレーム下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認する。
（本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。）

3 サイドカバーを取り付け本体の位置を調整する

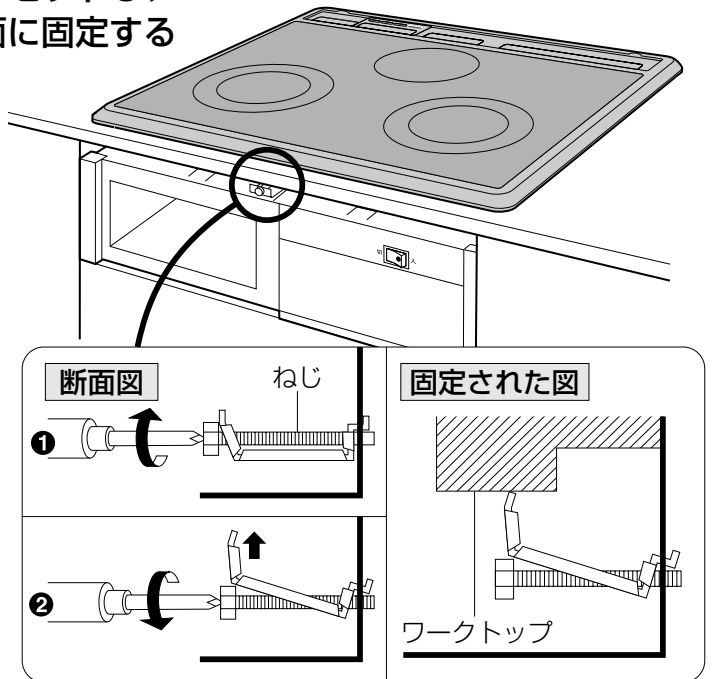
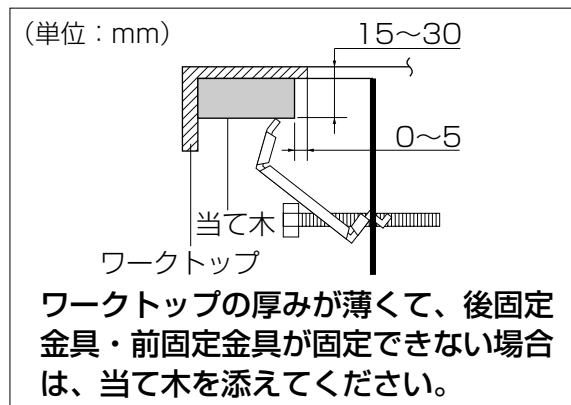
❶左右側面の差し込み部に、サイドカバーを取り付ける
❷サイドカバーとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する
❸キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する

4 後固定金具を固定する

（後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定され、シール性が確保されます。）

キャビネットの後方に背板がある場合

● 背板位置がキャビネットの取り付け穴から45mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設ける。

（単位：mm）

5 前固定金具（中央1か所）を固定する

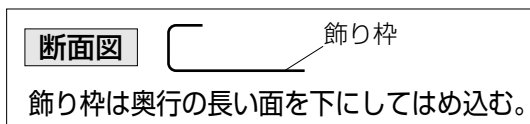
❶ねじをゆるめて、前固定金具をゆるめる
❷前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する

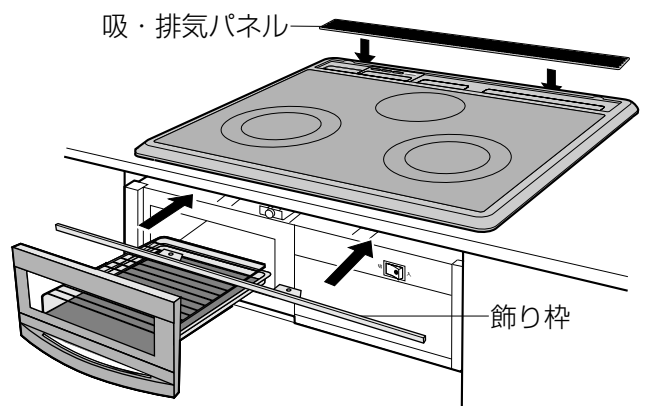
- 固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
  ※先の長い（約70mm以上）ドライバーをお使いください。
- 固定後は、フレームを押して動かないことを確認する。

ワークトップの厚みが薄くて、後固定金具・前固定金具が固定できない場合は、当て木を添えてください。

6 設置完了後

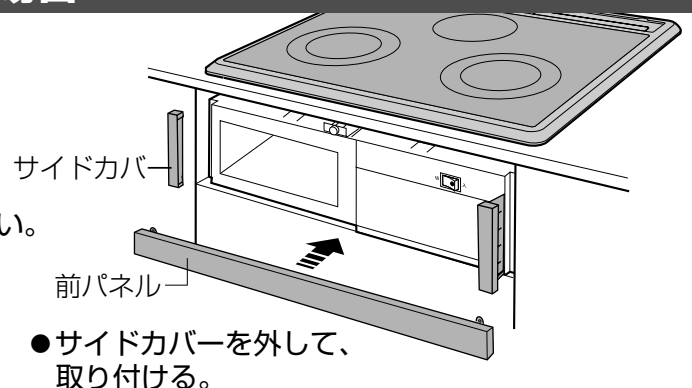
付属品およびロースター扉・受け皿、ロースター焼き網の取り付け

❶吸・排気パネルを取り付ける
❷飾り枠を取り付ける

飾り枠は奥行の長い面を下にしてはめ込む。

❸ロースター扉・受け皿、ロースター焼き網を取り付ける

- 受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込む。

前パネル（あっせん品）を必要とする場合

設置高さ	前パネル（ブラック）品番	前パネル（シルバー）品番
245mm	AD-KZ041-25	AD-KZ041S-25
270mm	AD-KZ041-50	AD-KZ041S-50
300mm	AD-KZ041-80	AD-KZ041S-80

※詳細は各あっせん品添付の設置工事説明書をご覧ください。

あっせん品の前パネルは「松下設備システム株式会社システム部材開発センター」へお問い合わせください。

- サイドカバーを外して、取り付ける。

設置工事完了後の確認

■設置終了後、次の手順で確認をし、チェック欄に ✓ 印をしてください。

確認項目				チェック
包装材料の取り外し	操作部止めテープ（KZ-321J・CHM-K1Jは無し）・ロースター扉の内側の紙			
付属品などの取り付け	吸・排気パネル・飾り枠・サイドカバー・ロースター扉・受け皿・ロースター焼き網			
外　観	フレームが浮いていないことを確認する			
	トッププレートが汚れていないことを確認する			
電気試験	**1** 電源電圧が単相200Vであることを確認する ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときにH20を表示します。 ➡ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。			
	2 電源スイッチを入れる	➡	通電ランプが点灯	
	3 左右IHヒーターは 切/入 キーと 切/入 キーで、ラジエントヒーターは 切/入 キーを操作し、作動を確認する ● 必ず水を入れたなべを置く。（空だきしない） ※付属の天ぷらなべを空だきすると、やけどや、なべの破損・変形、トッププレートを汚す原因になります。 ※なべを置かないと「なべなし自動OFF」が働いて約１分後に自動的に通電を停止します。 ※ 揚げ物 切/入 キーで操作した場合、次のようになることがありますが、異常ではありません。 ●なべが熱くなるまで時間がかかる ●U15を表示し通電を停止する	➡	しばらくするとお湯が沸く U15表示は再度 揚げ物 切/入 キーを押すと消えます。	
	4 ロースターは 切/入 キーを操作し、作動を確認する ●ロースター受け皿に水（約200ml）を入れて通電する。 ※水を入れないでキーを操作すると、「ロースター受け皿高温検知」が働いて、U11を表示し通電を停止します。 ※ラジエントヒーターと同時に使用できません。	➡	しばらくすると庫内が熱くなる U11表示は再度 切/入 キーを押すと消えます。	
KZ-321LR CHM-T2LRS を設置する場合	**5** レンジフードとの連動を確認する ●各ヒーターの操作キーを「入」にしたとき、レンジフードが同時に作動することを確認する。	➡	レンジフードが作動する。	
	●全ヒーターの操作キーを「切」にしたとき、レンジフードが停止することを確認する。 ※レンジフードの電源が入っていないと連動しません。	➡	約3分間運転したあと、停止する。	

■電気試験後は
- **必ず電源スイッチを「切」にしてください。**
- **同梱の天ぷらなべを使った場合は、必ず水を捨ててよくふいてください。**
- **天ぷらなべ・取扱説明書・設置工事説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。**

工事完了確認者印	

松下電器産業株式会社　IHクッキングヒータービジネスユニット
〒651-2271 神戸市西区高塚台1丁目5番1号

ZY16-2644
S0602Y4036